

11月9日, 2006

CAPD (腹膜透析) 研修会

- 高齢化社会の腎不全対策のために -

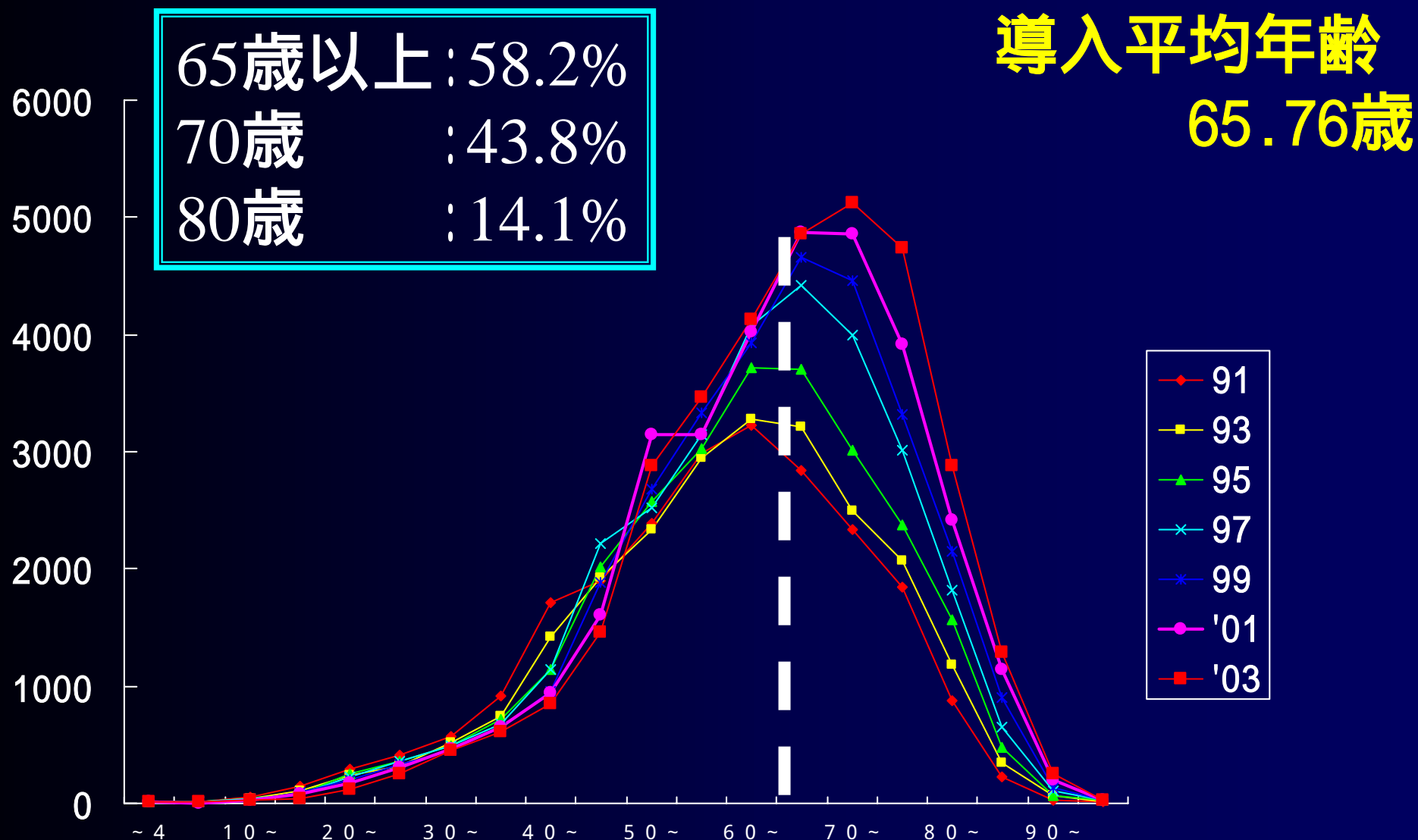
古川内科 宮崎正信

CAPD (腹膜透析) 研修会

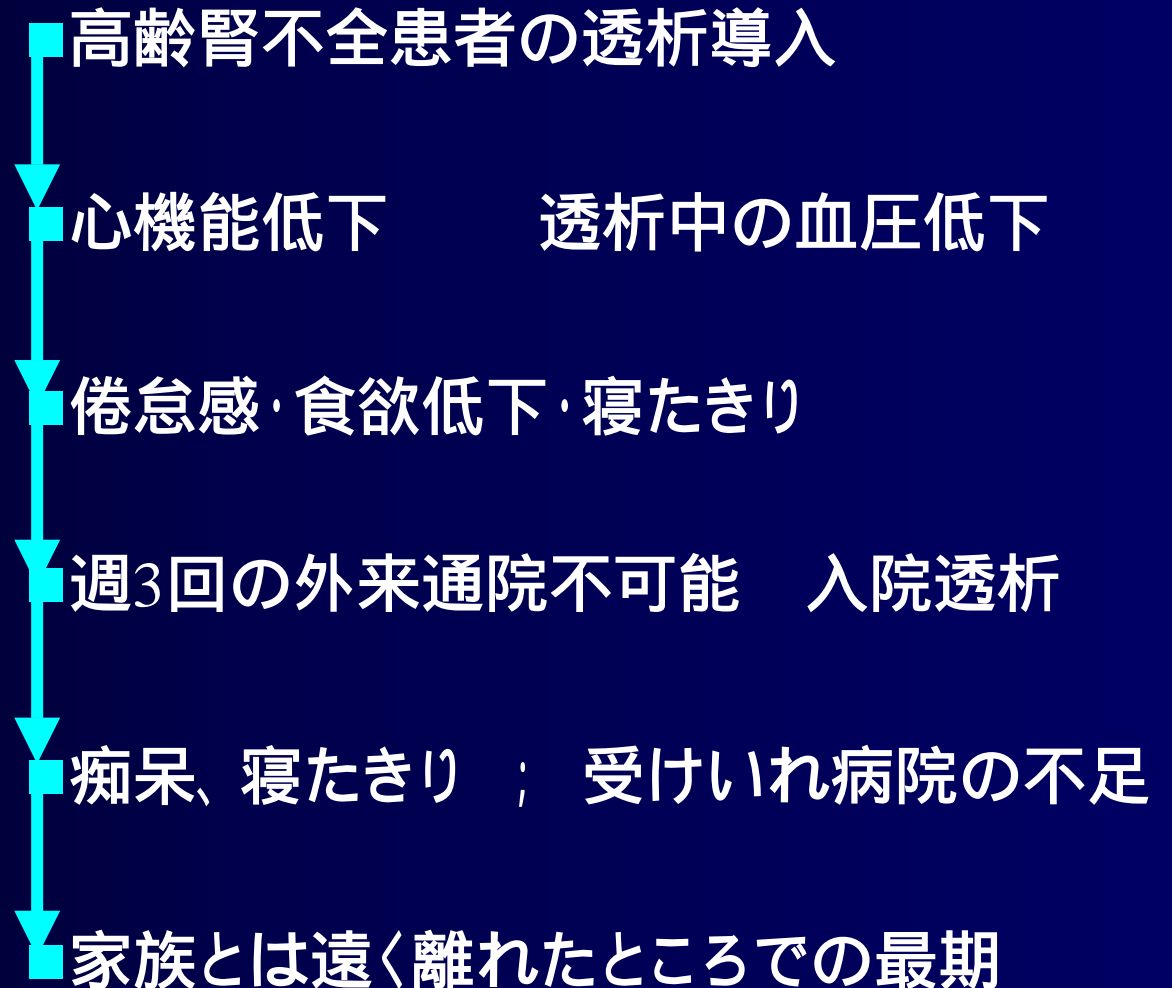
- 高齢化社会の腎不全対策のために -

- 高齢化腎不全の現況
- 腹膜透析における病診 / 病病連携
- 緊急体制
- 保険制度

年齢分布 (導入患者)



高齢腎不全患者の透析導入の行く末？



外来血液透析の抱える問題

“透析患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携に関するアンケート調査”

中澤了一・笠井健司・鈴木正司・下条文武 日本透析医会雑誌 21: 161, 2006

入院中の外来通院困難透析患者(理由)

病状	1973
介護者	1600
地域の体制・制度	215
家屋構造	163
病状急変時	230
訓練	189
家族関係	563
経済的	251
その他	108

高齢腎不全患者の透析導入の行く末？

腹膜透析のメリット

■ 高齢腎不全患者の透析導入

➤ 透析中の血圧低下なし



■ 心機能低下

透析中の血圧低下

➤ 比較的何でも食事可能



■ 倦怠感・食欲低下・寝たきり

➤ 寝たきりでも動ける人も



■ 週3回の外来通院不可能 入院透析

➤ 自宅や施設で可能

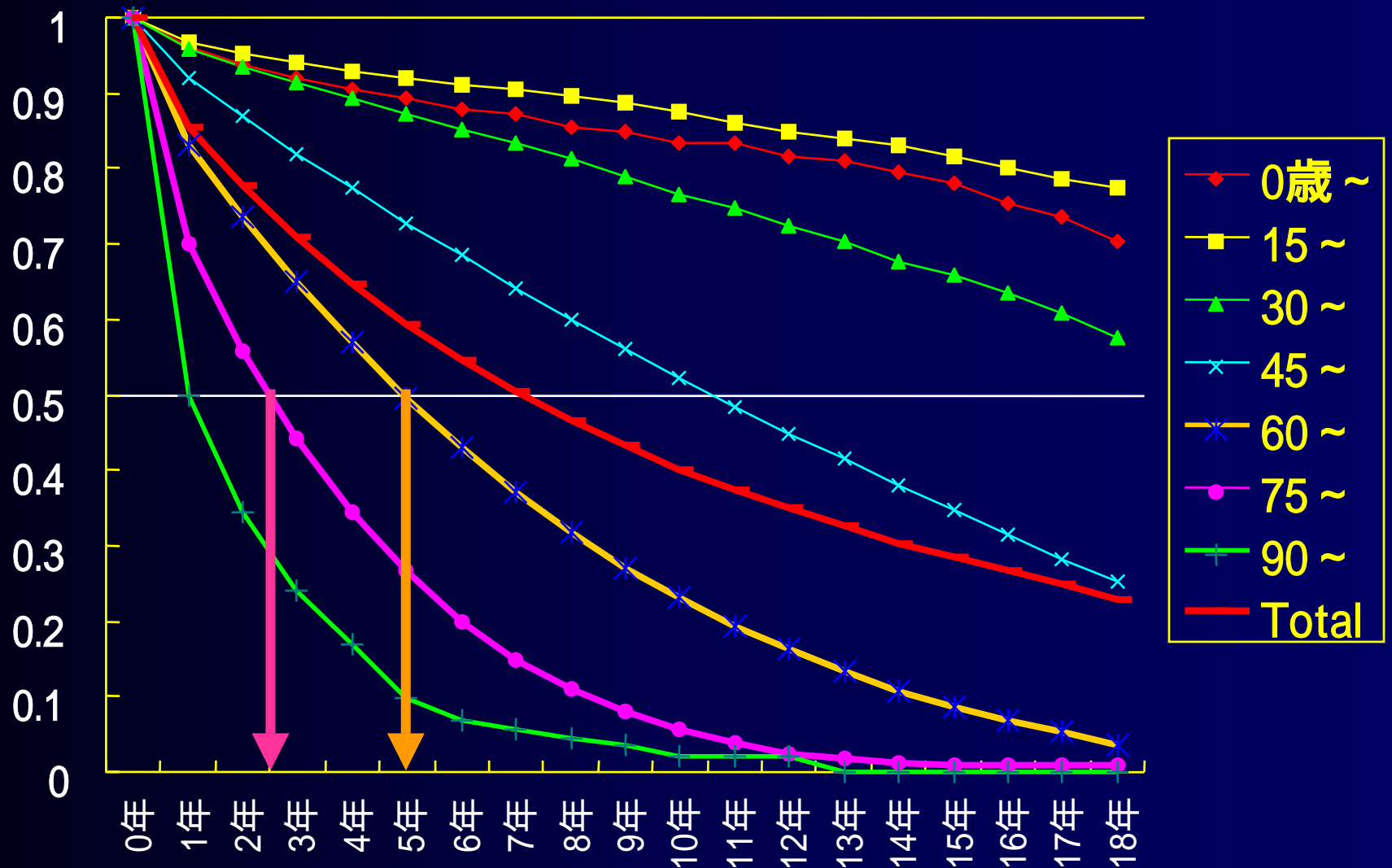


■ 痴呆、寝たきり ; 受け入れ病院の不足

➤ 家族の中での看取り

■ 家族とは遠く離れたところでの最期

年齢別生存率



60歳以上だと5年間、75歳以上だと3年間でまず目標に

高齢者では、
まず、
約5年間を目標に；これが平均レベル

尿毒症死は避けて、自然の死を
腎不全の克服

CAPD (腹膜透析) 研修会

- 高齢化社会の腎不全対策のために -

- 高齢化腎不全の現況
- 腹膜透析における病診 / 病病連携
- 緊急体制
- 保険制度

大学・中核病院

診療所

診療所

診療所

診療所

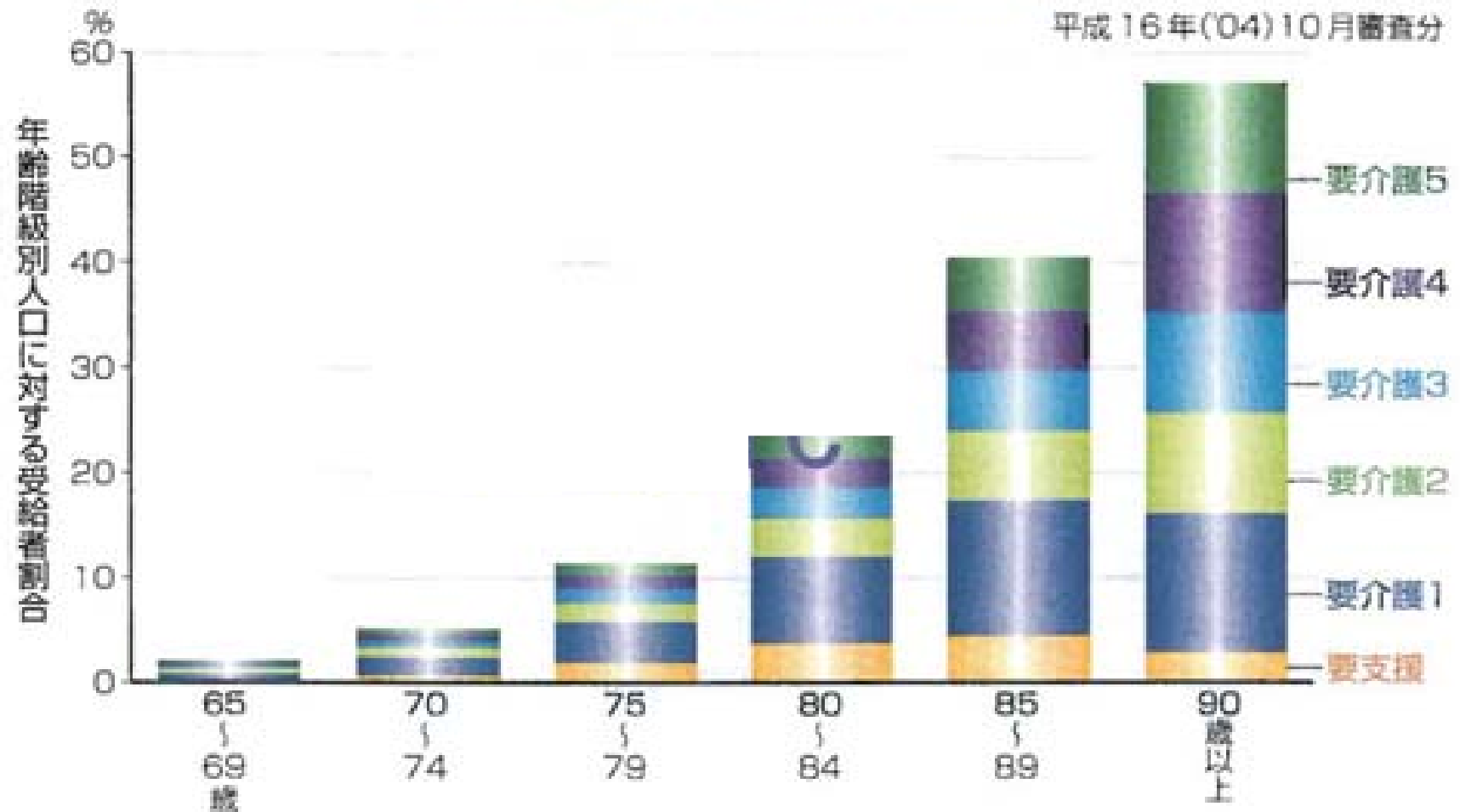
診療所

診療所

受け皿としての必要条件？

年齢とともに要介護度は急上昇

平成16年(04)10月調査分



資料 厚生労働省「介護給付費実態調査月報（概況）」
総務省統計局「平成16年10月1日現在推計人口」

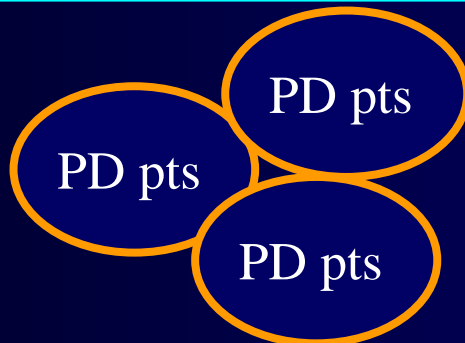
大学・中核病院



診療所



大学・中核病院



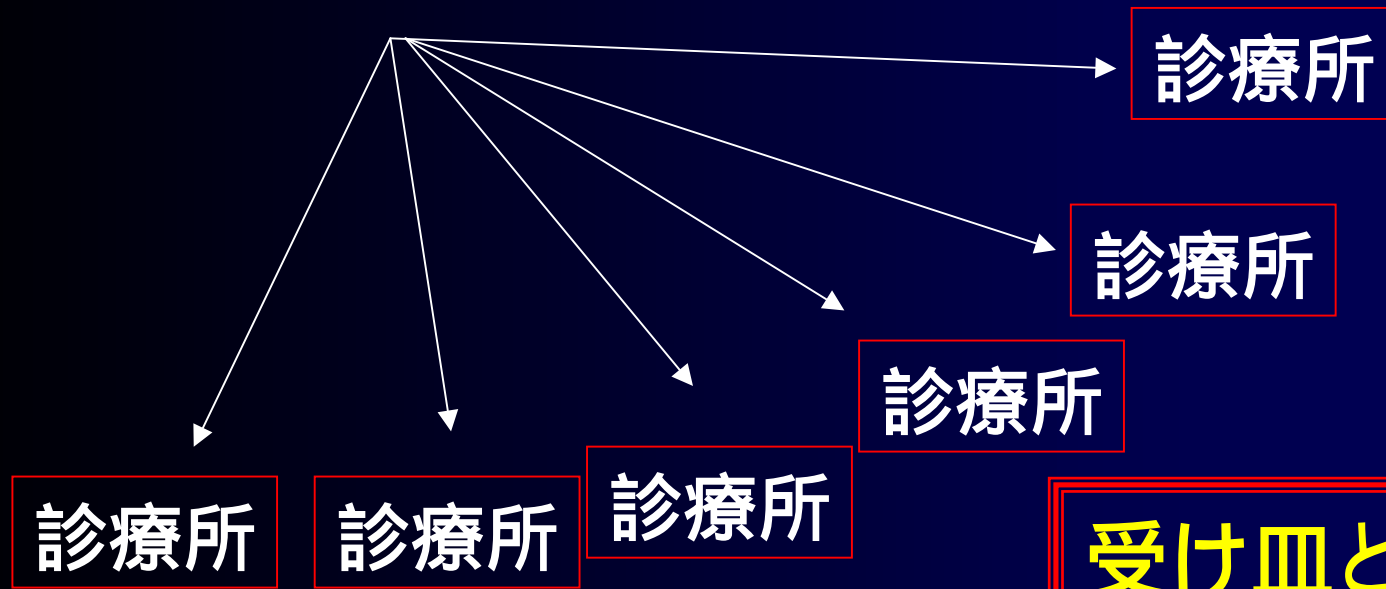
導入から外来・緊急まで
1ヶ所完結型

大学・中核病院



介護・地域サポート

大学・中核病院



受け皿としての必要条件？

- PDの質の担保
- 介護を利用したPD (PDと介護の共存)

坂の町長崎

車が自宅の前まで行かない所も多い



大学・中核病院

診療所

診療所

診療所

診療所

診療所

診療所

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

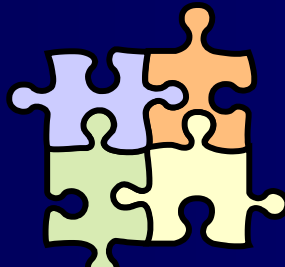
PD pts

PD pts

PD pts

介護を利用した在宅PD

介護・地域サポート

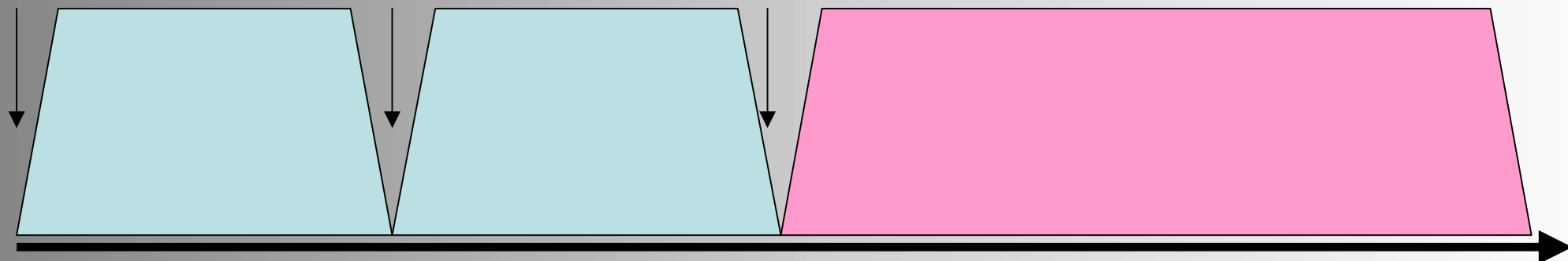


S.M様 交換スケジュール

排液して注液

排液して注液

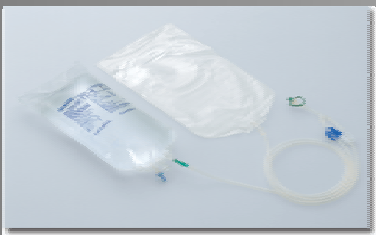
排液して注液



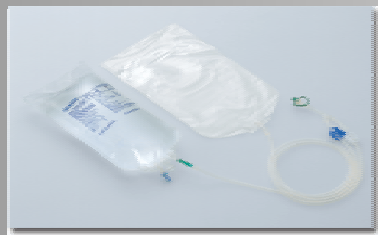
9時

15時

21時



ダイアニールN
UVフラッシュツインパック



ダイアニールN
UVフラッシュツインパック



エクストラニール
UVフラッシュツインパック



UVフラッシュ
ディスコネクトキット



UVフラッシュ
ディスコネクトキット



UVフラッシュ
ディスコネクトキット

大学・中核病院

診療所

診療所

診療所

診療所

診療所

診療所

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

PD pts

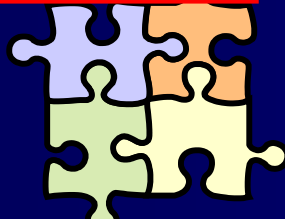
PD pts

PD pts

PDの質の担保・介護を利用した在宅PD

PD専門医・診療所

介護・地域サポート



在宅PD患者

PDサポート医(施設)

一般開業医

- 腹膜透析液処方
- 長期透析合併症予防と治療
貧血・骨・心臓

上記のための採血と判断、処方

- 基礎疾患の治療
(在宅医として)

採血
一般処方
工ポ皮下注
採血; PD専門医に相談

CAPD (腹膜透析) 研修会

- 高齢化社会の腎不全対策のために -

- 高齢化腎不全の現況
- 腹膜透析における病診 / 病病連携
- 緊急体制
- 保険制度

緊急時の対応



腹膜透析としての緊急

- ◆ 腹膜炎
- ◆ 排液不良
- ◆ カテーテル切断
- ◆ 出口部感染

基本的にPD専門医に相談
Or
後方病院へ入院(相談)

一般緊急

- ◆ 発熱・腹痛・食欲低下

(透析と関係ないとなれば)
通常に対応
入院の際には、入院先でPD継続



バックアップ(緊急時・精密検査)

大学・中核病院

診療所

診療所

診療所

診療所

診療所

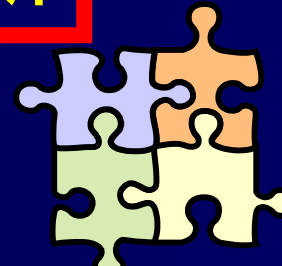
診療所



PDの質の担保・介護を利用した在宅PD

PD専門医・診療所

介護・地域サポート



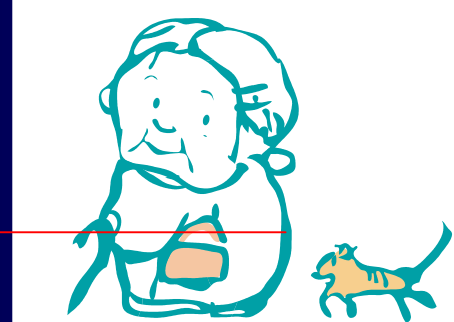
CAPD (腹膜透析) 研修会

- 高齢化社会の腎不全対策のために -

- 高齢化腎不全の現況
- 腹膜透析における病診 / 病病連携
- 緊急体制
- 保険制度



高齢化社会の透析医療



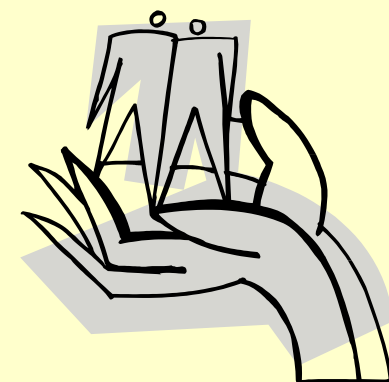
早めの腹膜透析で“楽々透析” (= 透析をしている実感無し)

今後は、血液透析患者から腹膜透析への移行もありうる

腹膜透析で在宅医療が可能になる



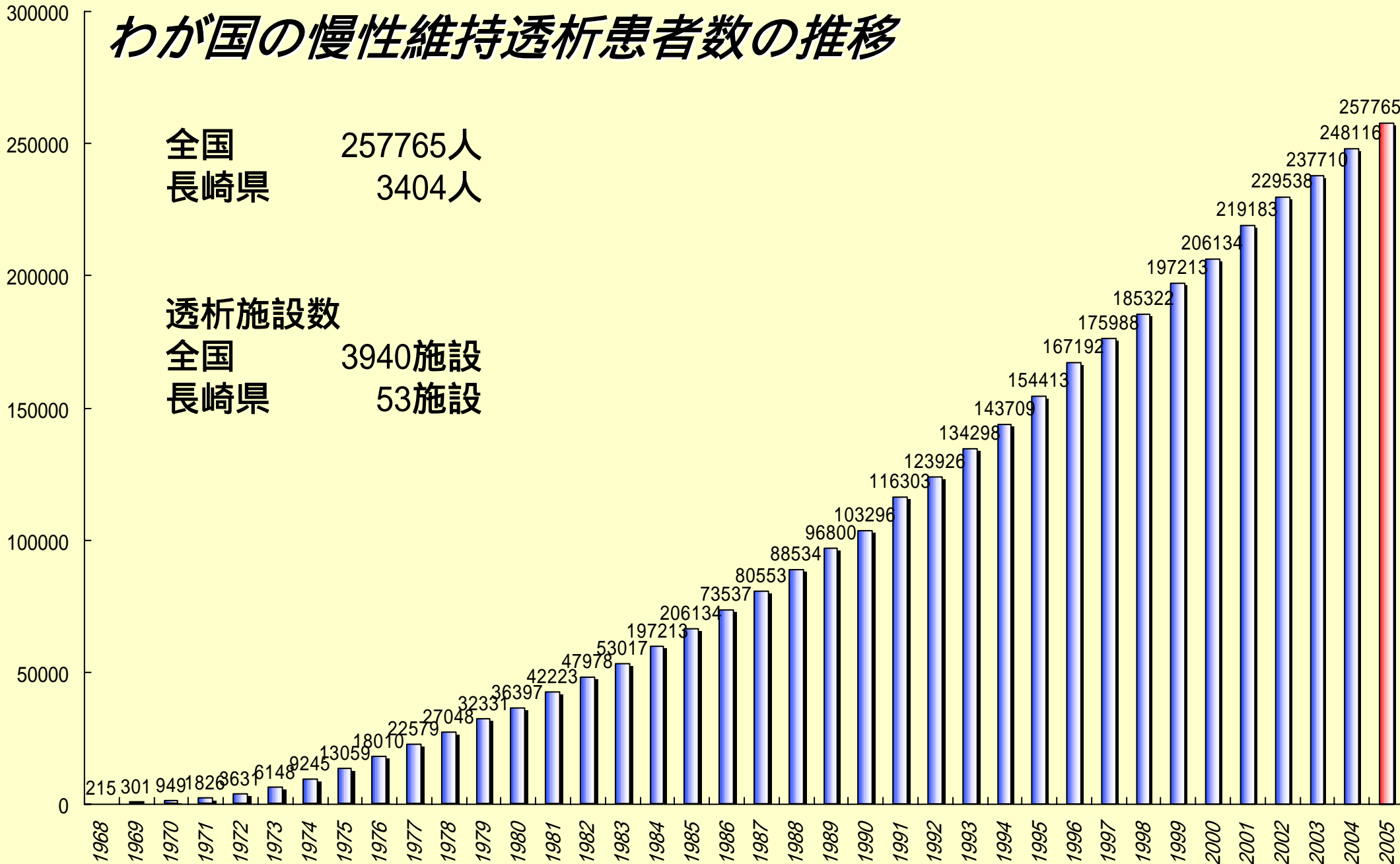
介護・医療のバックアップの重要性



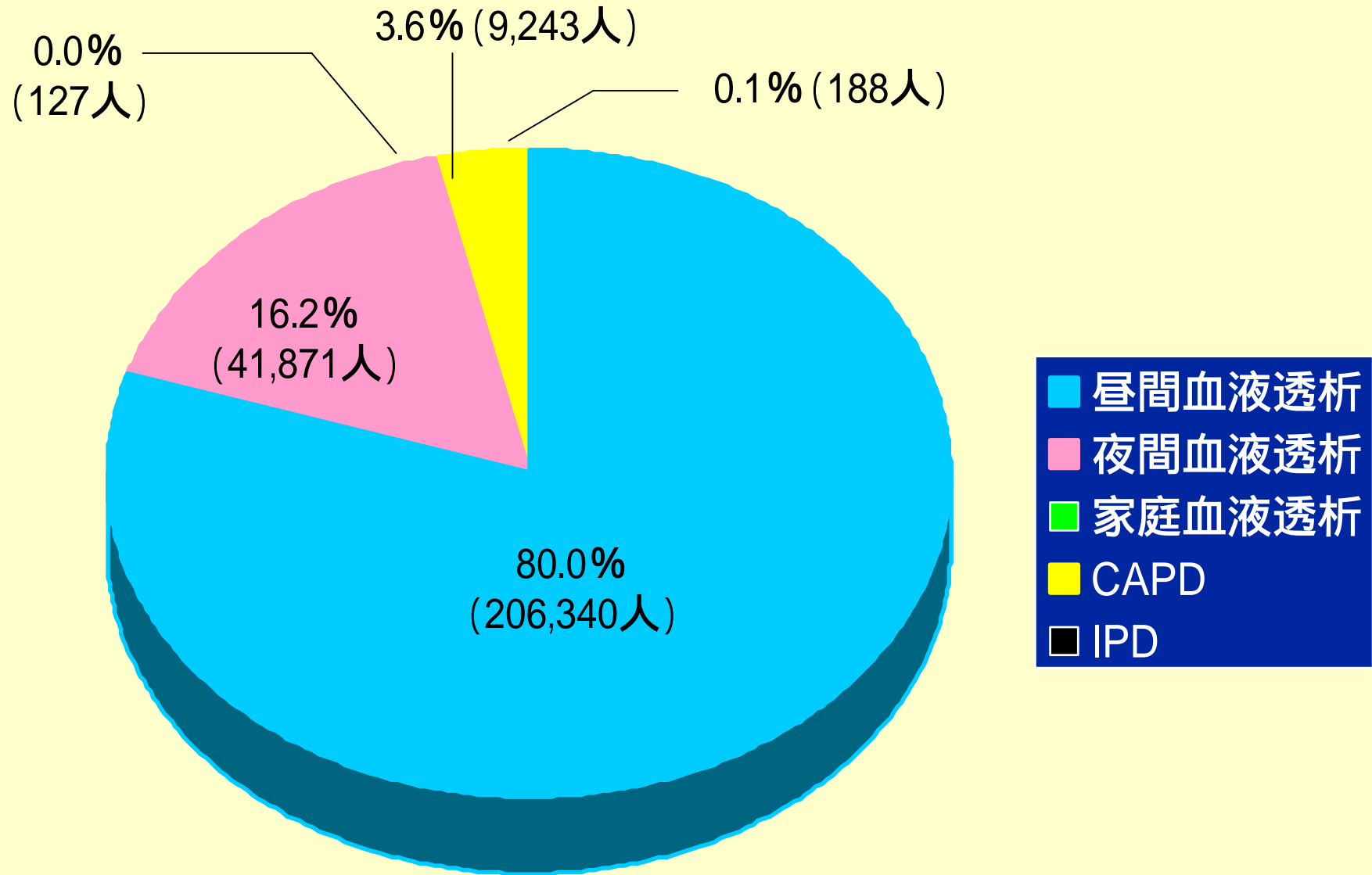
わが国の慢性維持透析患者数の推移

全国 257765人
長崎県 3404人

透析施設数
全国 3940施設
長崎県 53施設

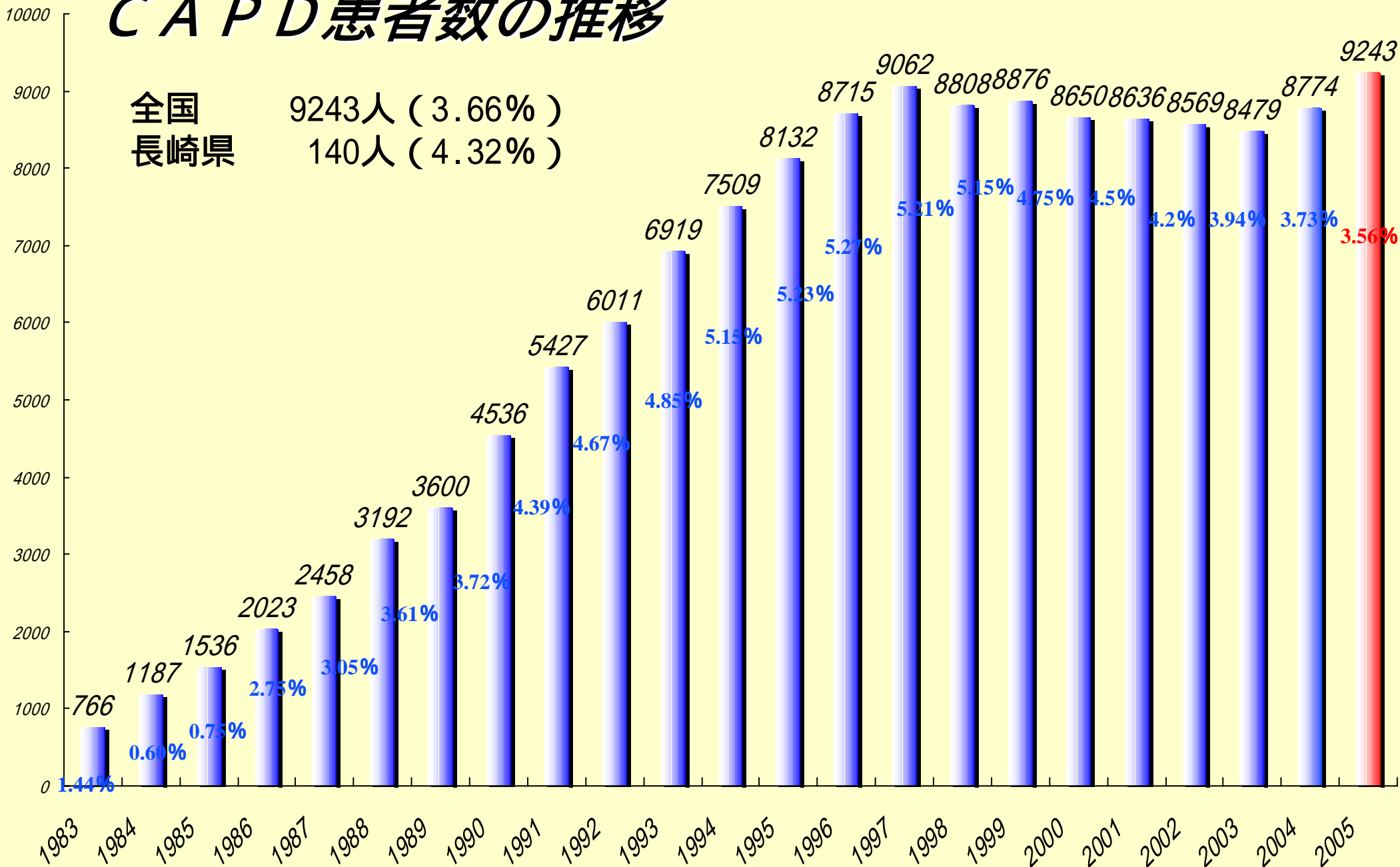


慢性透析治療の形態



CAPD患者数の推移

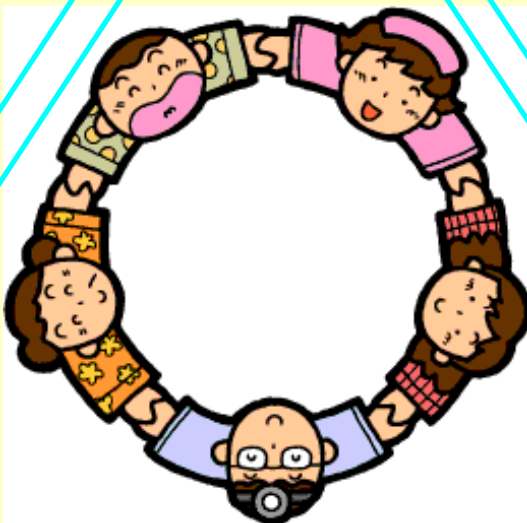
全国 9243人 (3.66%)
長崎県 140人 (4.32%)



腎不全医療は 生涯・全人・包括医療



大学病院
中核病院



説明・指導
報告・相談

外来受診
緊急連絡

地域の医療資源

緊急連絡

訪問看護

患者・家族

